



多文化ソーシャル・ムーブメント(TSM)セミナー「多文化社会に流れる新しい風【第1回】」

生涯発達研究所連続講演会「共生社会の時代を生きる－教育と福祉はどう支援できるのか－【第1回】」

異文化介護を考える

今回のセミナーは、最近、少しずつ認識され始めてきた外国人高齢者問題をとりあげ、この問題が認識されるきっかけとなった「外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト」の取組を踏まえ、今後の外国人高齢者介護福祉の問題点や取り組み、対応策などについて話し合い、日本人も外国人も老後を暮らせる地域社会のあり方について、参加者とともに考えていきます。

日時

2018年9月1日(土)
13:00～16:00

場所

愛知県立大学サテライトキャンパス

愛知県産業労働センター「ウインクあいち」15階
(名古屋市中村区名駅4丁目4-38)

定員

50名(参加無料)

問合せ・申込先

tabunka.social.movement
@gmail.com (TSM事務局)

I セミナー開催の趣旨説明～外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクトを踏まえて～

II 報告

- ① 有識者：朝倉美江氏(金城学院大学教授)
- ② 施設：藤井克子氏(愛知県高齢者生活協同組合専務理事)
- ③ 行政：愛知県多文化共生推進室

III ディスカッション

主催：TSM(多文化ソーシャル・ムーブメント)、外国人高齢者と介護の橋渡しプロジェクト、
愛知県立大学生涯発達研究所・多文化共生研究所

後援：愛知県、名古屋市、(公財)愛知県国際交流協会、(公財)名古屋国際センター、(社福)愛知県社会福祉協議会、(社福)名古屋市社会福祉協議会、(一社)愛知県社会福祉士会、(一社)愛知県介護福祉士会、NPO法人地域と協同の研究センター

◎現在、愛知県内には、東京都に次いで2番目に多い24万人の外国人が住んでおり、年々、増加してきています。また、近年、フィリピン人、ベトナム人など、アジアの人たちが増加し続け、多国籍化が一層進展するとともに、今後も日本で生活する「永住者」の在留資格を持つ外国人が増え続けています。そこで、こうした変化し続ける多文化社会における新しい動きを伝えるとともに、共生社会の時代をどう生きていくかを考えるために、これからもセミナーを開催していきます。